


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 十五建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【○年○月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内では共有、実践している。	●		経営理念を明文化し、会社ホームページに掲載し、社員に周知している。組織図を社内情報共有システムにアップし、会社目標、スローガン等を掲げ、社員全員賛同のうねー丸となって努力している。								8	9										17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		個人情報保護方針を定め、個人情報保護の仕組みを構築し、個人情報保護の重要性の認識と取組みを、会議などの際、全従業員に周知徹底させることにより、個人情報の保護を推進している。プライバシーポリシーの内容を適宜見直し、その改善に努めている。																		16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		顧客要求事項に基づいた、施工計画書、実行予算書の作成を行い、管理責任者・工事部責任者・現場代理人、その他関係者で協議をおこなっている。												10							16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		組織図を作成し、役割・職務を明文化し、担当者、責任者を任命している。																			16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		就業規則に定めている(特許・発明・考案・著作権等)。定例工程会議等で、情報漏洩防止他、社員に周知している。施工実績の工事書類(資料・データ)の永年保管。									8.2 8.3	9											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報の正確性及び安全性確保のために、SECURITY ACTION 1つ星を宣言している。当社が保有する個人情報に関して適用される日本の法令、その他規範を遵守するとともに、本ポリシーの内容を適宜見直し、その改善に努めている。																		16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		毎年、年に一度、各現場作業に携わった協力建設会社、リース会社、建設資材会社等関係各社一同に介して親睦会を開催している。																		16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及び生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1				16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9								17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●									1	2			5		8				12	13	14	15	16
労働	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		雇用・教育・昇進・登用・福利厚生等、あらゆる雇用条件および職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。差別や各種ハラスメントの禁止について就業規則に定めている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8									16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		ISO45001取得。労働安全衛生コンサルタントによる講習会を実施。各現場にて、定期・不定期で安全訓練実施。新規入場者教育実施。現場巡回指導員(建炎防熊本支援センター)と安全衛生推進者による、現場安全巡視パトロールを行っている。各現場事務所にAEDを設置している。						3						8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		基本給は、各自の技術、技能、経験及び年齢などを総合考慮のうえ決定。 社員・パート社員を公正に処遇している。					5.5				8.5								10.2 10.3				
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		土曜日を現場閉所日とすることや休日にて4週8休制を実行している。リフレッシュ休暇・メモリアル休暇対象者申請で、有給で勤務年数に応じた休暇付与制度を実施している。						3			5.5		8.5 8.8						10.3				
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		従業員への建設業関連の資格取得の費用負担。建炎防り講師を招いての『建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育』を現場の協力下請業者も共に受講させている。								4	5.5			8	9								

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											
																																	
人権	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		毎日朝礼の際、準備体操を行い、作業中の怪我や事故が無いよう、努めている。安全訓練を行い、全従業員の年一回健康診断を行い健康維持を意識させている。勤続年数に応じて、年次有給休暇以外に、リフレッシュ休暇・メモリアル休暇を導入している			3							8																		17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		建設現場に女性技術者・若手と熟練の高齢ベテラン技術者とを配置し、知識の継承・後進の育成環境を整備している。技術と知識を備えた定年後の 人材を再雇用し知識・技術の継承・後進の成長により事業の基盤づくりを進めている。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3															16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	ウェブ会議の実施。各現場事務所・本社事務所の各入り口にアルコール消毒用品・体温計の常備設置。			3						8	9.1		11	12															
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	ドローンやICTを取り入れた環境作り、VRを使用した安全訓練・教育を行っている。文書の社内電子メール送受信、インターネットの情報共有サイト掲示板利用でペーパーレスを推奨。ZOOMでの社内会議の実施。									8	9.1		11	12															
	21	【ブライ企業】 ・ブライ企業に認定されている。		●	【予定】令和4年度中にブライ企業申請予定。			3	4						8	9			12														

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 十五建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		ISO14001取得。現場の産業廃棄物は産廃契約を締結した、許可処分業者に搬入し、処分委託し再資源化に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		簡易計算シートにより、エネルギー使用量を把握している。 遠方現場の場合、複数人で乗せ一台の車両で通勤、日替り交代で現場近くの施設に宿泊し、燃料の削減に努めている。 【予定】使用量-軽油70,022ℓガソリン23,695ℓ(R2年4月~R3年3月)の年間使用量をR4年10月までに年間2%削減予定。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートにより、CO2排出量を把握している。 ISO14001取得。現場や現場事務所で使用する電源について、温室効果ガスの発生量の少ない太陽光発電設備等に切り替えることで、温暖化対策を行っている。使用電力については必要最小限にし、節電節約に努めている。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13		14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		管理責任者は、「環境影響評価表」により、抽出・評価を行っている。施工に係る活動においては、「施工計画書」に管理策を明確にし、著しい環境側面は定期的に見直しを行い、環境負荷の低減に努めている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		本社事務所・現場事務所ともにゴミの分別の徹底。現場の産業廃棄物は産廃契約を締結した、許可処分業者に搬入し、処分委託し再資源化に努めている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		河川工事では水質保全のため、水質汚濁防止ネットを使用したり、中和剤の投入を施した現場施工を実施。また、地元漁協組合、地域町内長・区長の方々と協議を重ね、より良い施工に努めている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		消耗品はFSC認証のコピー用紙の購入や、エコマーク商品・バイオマス表示のゴミ袋他グリーン商品を購入している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		本社裏の木々の害虫駆除や玄関横花壇に四季折々の草花を植え緑化を整備している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

事業者名: 株式会社 十五建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具格的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレ ン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		ISO9001取得。 社内・社外の品質証明員を定め、証明員による各工程段階の現場施工の確認検査実施。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		作業現場内環境整備として、危険箇所の安全バー・仮囲いの設置、注意喚起の掲示、音声案内等を導入している。地域住民もわかりやすい、工事看板、迂回標示に努めている。地域住民への現場内立入禁止区域の明確化として禁止表示とセーフティーネットの設置と交通誘導警備員を配置している。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		現場資材は県産材を積極的に使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本都市建設業協会主催の地域社会貢献のボランティア清掃に参加。施工現場地域の社会貢献として、河川の清掃活動、川口中洲ヨシの刈取り・ヨシ焼き作業に積極的に参加。地域の祭事に寄付金進呈。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事前防災対策として、ブルーシート・大型土のう袋(耐候性・普通)・土のう袋の備蓄。救命胴衣を常備している。緊急連絡網の一覧表の作成。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		国土交通省との災害協定(H29年より)に基づき出動実績(H30年より)がある。熊本県建設業協会災害応急活動等に従事するものの証明の書面がある。(協会と大規模災害時の支援活動に関する協定書を熊本県とH25年4月1日締結)	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		SDGs普及・教育を社員工程会議等、従業員が一同に集まった際に、社内研修として、行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		平成30年度熊本工業高校の2名の生徒と令和3年度熊本農業高校生1名の受入れなど、インターンシップを積極的に受入れている。				4				8.6		10.2							17		
	49	【若者の地元定着等】 若者の県内就職を促進する取組を行っている。	●		ヤングハローワーク熊本へ新卒大学生2名・高校生の1名を、毎年求人募集している。地域の祭りに協賛金の進呈をしている。施工現場の近隣建設会社でつくる協議会の一企業として、現場近くの小学校のクリスマスイルミネーションの飾りつけを行う等、地域の子供達の為ボランティアを行っている。				4.4				8.5 8.6									17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具格的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。